

WebSAM Storage
ReplicationNavigator Ver8.0
インストールガイド

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

このインストールガイドでは、WebSAM Storage ReplicationNavigator のインストールに関して説明しています。


使用方法に関しては、CD 媒体に含まれる電子マニュアルをご参照ください。

備考

1. 本製品は、Windows Server 2012、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022 に対応しています。
2. 本文中の以下の記述は、特に明示しない限り、対応する製品名を意味します。

本文中の記述	対応する製品名
iStorageManager	WebSAM iStorageManager
ControlCommand on Windows	iStorage ControlCommand on Windows
Protection Manager	WebSAM Storage Protection Manager
ReplicationNavigator	WebSAM Storage ReplicationNavigator
VSS Provider	iStorage VSS Provider
JMSS	WebSAM JMSS WebSAM JMSS EnterpriseEdition
JobCenter	WebSAM JobCenter

3. 商標および登録商標
 - Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他、記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
4. 本文中は、特にご注意ください内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、システム運用において影響がある場合があります。

表示の種類	
種 類	内 容
	操作において特に注意が必要な内容を説明しています。

目 次

第 1 章	導入	1
1.1	動作環境	1
1.2	インストール・アンインストール	2
1.2.1	インストール	2
1.2.2	アンインストール	5
1.2.3	アップデート	6
第 2 章	運用準備	7

第1章 導入

1.1 動作環境

下記は、本バージョンの製品の初期出荷時点でサポートする動作環境です。

最新の情報については、PP・サポートサービス(事前の登録が必要)により提供しております。

表 1 動作環境

ハードウェア	・サーバ: Express5800/100 シリーズ、Express5800/1000 シリーズ
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2012 Standard ・Windows Server 2012 Datacenter ・Windows Server 2012 R2 Standard ・Windows Server 2012 R2 Datacenter ・Windows Server 2016 Standard ・Windows Server 2016 Datacenter ・Windows Server 2019 Standard ・Windows Server 2019 Datacenter ・Windows Server 2022 Standard ・Windows Server 2022 Datacenter
実行環境	・Microsoft .NET Framework 4.5 / 4.6 / 4.7 / 4.8
iStorage 関連ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・iStorageManager ・DynamicDataReplication または RemoteDataReplication または DynamicSnapVolume
ジョブ管理ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・WebSAM JMSS EnterpriseEdition Ver 7.1 / 7.2 ・WebSAM JMSS Ver 7.1 / 7.2 / 7.3 ・WebSAM JobCenter R13.1 / R13.2 / R14.1 / R14.2 / R15.1 / R15.2 / R15.3 / R15.4 / R15.5 / R16.1 ・WebSAM Storage JobCenter Lite R13.1 / R13.2 / R14.1 / R14.2 / R15.1 / R15.3 / R15.4 / R15.5 / R16.1
クラスタソフトウェア※	<ul style="list-style-type: none"> ・CLUSTERPRO X 3.1 / 3.2 / 3.3 / 4.0 / 4.1 / 4.2 / 4.3 / 5.0 ・Windows Server Failover Clustering
連携ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・ControlCommand on Windows Ver10.1 以降 ・Protection Manager Ver8.1 以降 ・VSS Provider Ver2.4 以降 ・ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle Ver2.2 以降
メモリ	89MB 以上
ディスク容量	24MB 以上

※ バックアップ対象のクラスタリングに使用するソフトウェアです。

1.2 インストール・アンインストール

1.2.1 インストール

以下の手順にしたがって、ReplicationNavigator をインストールします。

インストールするときは、次のこと確認してください。

- 管理者権限でログインしている。
- すべてのプログラムが終了している。



クラスタ環境に ReplicationNavigator をインストールする場合、現用系サーバと待機系サーバの ReplicationNavigator のインストールパスは、必ず同じにしてください。

【ReplicationNavigator のインストール】

1. ReplicationNavigator のインストール用 CD 媒体を CD-ROM ドライブにセットします。

ここでは、CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブを「X:」として説明します。

2. CD ドライブ内の以下のインストールプログラムを実行します。

X:¥SETUP¥SETUP.EXE

ようこそダイアログボックスが表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。

使用許諾を確認するダイアログボックスが表示されます。

4. [使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

ユーザ情報を入力するダイアログボックスが表示されます。

5. 「ユーザ名」と「会社名」を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

セットアップタイプを選択するダイアログボックスが表示されます。

6. [エージェント] または [マネージャ] を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先を確認するダイアログボックスが表示されます。

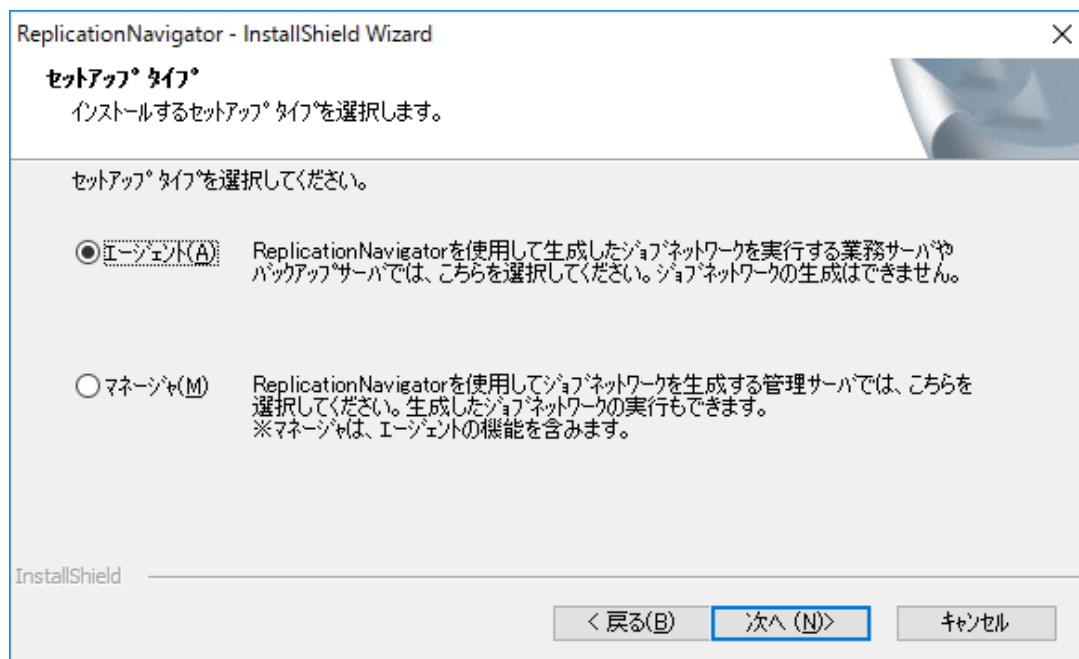


[エージェント]と[マネージャ]についてはそれぞれ以下の役割となっています。

エージェント : ReplicationNavigator を使用して生成したジョブネットワークを実行するサーバ

マネージャ : ReplicationNavigator を使用してジョブネットワークを生成するサーバ

※マネージャは、エージェントの機能を含みます。



7. 必要に応じてデフォルトで設定されるインストール先を変更して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先にタブおよび「%」、「(」、「)」、「^」、「;」、「&」、「=」、「,」などの特殊文字は使用できません。インストール先を変更する場合、ほかの製品のインストール先と同じ場所を指定しないでください。

インストールを開始するダイアログボックスが表示されます。

8. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。インストールの完了を通知するメッセージが表示されるまでお待ちください。

9. [完了]ボタンをクリックします。

インストールが完了すると、システム環境変数 REPNAVI_HOME_DIR に次のディレクトリが追加されます。

- <ReplicationNavigator のインストールディレクトリ>

ReplicationNavigator を動作させるジョブ運用管理ソフトなどにシステム環境変数を反映するためには、サーバを再起動してください。

1.2.2 アンインストール

以下の手順にしたがって、ReplicationNavigator をアンインストールします。

アンインストールするときは、次のこと確認してください。

- 管理者権限でログインしている。
- すべてのプログラムが終了している。

【ReplicationNavigator のアンインストール】

1. **【コントロールパネル】- 【プログラムの追加と削除】または【プログラムと機能】を開きます。**
[プログラムの追加と削除]または[プログラムと機能]ダイアログボックスが表示されます。
2. **【現在インストールされているプログラム】または【プログラムのアンインストールまたは変更】から「ReplicationNavigator」を選択し、【削除】または【アンインストール】ボタンをクリックします。**
削除するかを確認するダイアログボックスが表示されます。
3. **【はい】ボタンをクリックします。**
アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると、アンインストール完了画面が表示されます。
4. **【完了】ボタンをクリックします。**

※ 製品のアンインストール後、インストールフォルダにフォルダや設定ファイルが残る場合がありますが、本製品をご使用にならない場合は削除してください。

1.2.3 アップデート

ReplicationNavigator をアップデートする場合は、ソフトウェアのアンインストールを行ってからインストールを行います。
手順は「1.2.1 インストール」、「1.2.2 アンインストール」を参照してください。

なお、アンインストール後に同じディレクトリにインストールすることにより、設定は引き継がれます。

第2章 運用準備

本製品を使用するにあたり、事前に、インストールおよび環境設定が必要なソフトウェアがあります。

バックアップ対象が Oracle 単一インスタンス、SQL Server、Exchange Server およびファイルシステムの場合、業務サーバおよびバックアップサーバに Protection Manager のインストールおよび環境設定を行ってください。

詳細は、Protection Manager のマニュアルを参照してください。

ジョブ管理ソフトを利用する場合、管理サーバ、業務サーバおよびバックアップサーバに JMSS または JobCenter のインストールおよび環境設定を行ってください。

詳細は、JMSS または JobCenter のマニュアルを参照してください。

Oracle 単一インスタンスデータベースのバックアップリストアを行う場合、業務サーバおよびバックアップサーバに ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のインストールおよび環境設定を行ってください。

詳細は、ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のマニュアルを参照してください。

Oracle Real Application Clusters データベースのバックアップリストアを行う場合、管理サーバに ReplicationNavigator Oracle RAC Option のインストールおよび環境設定を行ってください。

詳細は、ReplicationNavigator のマニュアルを参照してください。